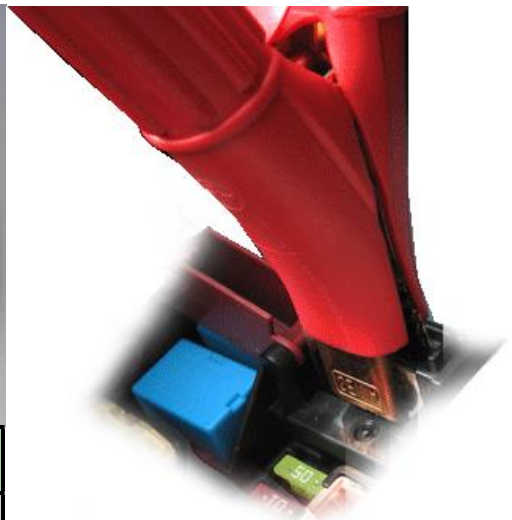
ハイブリッド車用ブースターケーブル

EA812JY-48～49



品番	コード長
EA812JY-48	3.5m
EA812JY-49	5.0m

薄い救援端子にもしっかり
安定した接続が可能！

●ケーブル仕上り外径…10mm
●対応電流…100A
●対応電圧…12V/24V
●適合車…ガソリン車
HV車（救援端子なし）
HV車（救援端子あり）
プリウス・エスティマ・アルファード
レクサスRX450h・HS250hなど
通常のブースターケーブルとしても
御利用いただけます。
●総重量…1.1kg

1部のハイブリッド車はバッテリーが上がるとトランクルームが
開かなくなります。補機バッテリーがトランクルームに搭載されている場合、
ブースターケーブルでの救援を行うことができません。
その為、該当車種にはボンネット内のヒューズボックスの中に救援端子が
ついています。これにブースターケーブルを接続し、救援を行うのですが、
救援端子は狭いところにあり、小さい金属板です。
その為、EA812JY-48～49のような形状の薄いクリップでないと
救援端子への接続が不安定になりスムーズに作業が行えません。

大きさがこんなに違います。

●EA812JY-48～49
閉じた状態で
幅7mm高さ15mm

●通常のクリップ
閉じた状態で
幅32mm高さ22mm

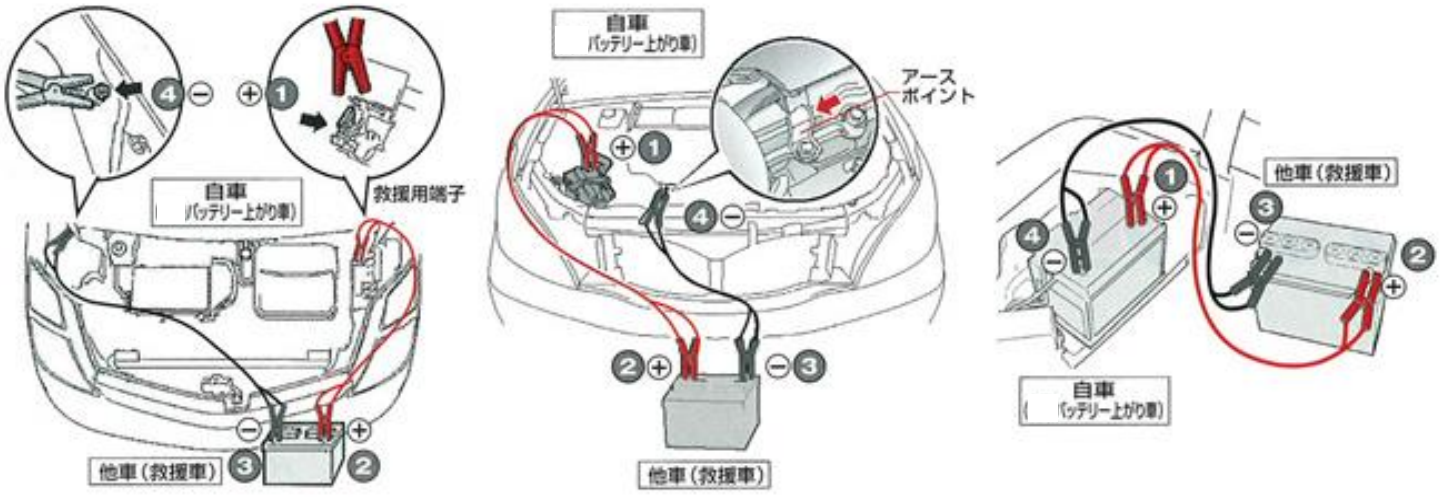
● ダブルコードを採用することにより、従来の単線のブースターケーブルのような急激な温度上昇が抑えられ、安全により経済的に使用できます。
● 従来の単線ブースターケーブルでは使用時に電気抵抗の大きいバネが発熱し製品劣化が生じたのですが、ダブルコードにすることによりクリップ両側から電流が流れる為、バネにかかる負担が減少し商品寿命が長くなりました。
● 従来のブースターケーブルでは単線の為、使用時クリップとクリップ、クリップとコードが絡まりやすかったのですが、ダブルコードにすることにより絡みにくくなり、便利になりました。

トヨタハイブリッド車（ボンネット内部救援端子付き車両）のブースターケーブル使用方法

①自車の救援用端子にプラス側クリップ（赤）をしっかり挟んでください。
②救援車（他車）のバッテリーのプラス端子にもう片側のプラス側クリップ（赤）を挟みます。
③救援車（他車）のバッテリーのマイナス端子にマイナス側クリップ（黒）を挟みます。
④自車の救援用端子からなるべく離れた位置（アースポイント）にもう片側のマイナス側クリップ（黒）を挟みます。
⑤救援車側（他車）のエンジンをかけ、エンジン回転数を少し高めにし、約5分間その回転を保持し、応急的に自車（補機バッテリーあがり車）の補機バッテリーを充電します。

《ブースターケーブル接続例》

A.救援用端子設置車　　B.ボンネット内バッテリー搭載車　　C.トランクルーム内バッテリー搭載車



●救援端子は他車から応急的に補機バッテリーを充電する為のものです。
この救援端子を使用して他車のバッテリーあがりを救援することはできません。
万一、他車を救援する際にはトランク内に設置されている補機バッテリーのターミナルを直接使用して下さい。（上記接続例参照）

注意事項

◆バッテリー上がりの際の対処法については、各車の取扱説明書に添い行ってください。

◆救援車のバッテリーは12ボルトであるか24ボルトであるか確認してください。（12Vには12V、24Vには24V）

◆救援用端子の位置については、各車の取扱説明書を参照してください。

◆アースポイントは救援用端子からなるべく離れた位置にとってください。万一、マイナス側クリップ（黒）がはずれ、
救援用端子に接触した場合火花が発生し大変危険です。
◆ブースターケーブルを接続するとき、プラスとマイナス端子を絶対に接触させないでください。

◆火気を補機バッテリーに近づけないでください。充電中は可燃性ガスが発生し引火する恐れがあります。

◆充電中は補機バッテリーに近づかないでください。希硫酸の含まれるバッテリー液が噴き出す恐れがあり、
目や皮膚に付着すると重大な傷害を受ける恐れがあり危険です。万一、付着したときは
すぐに大量の水で洗浄し、医師の診察を受けてください。
◆ブースターケーブルを接続したり取り外すときはファンやベルトなどに触れたり、近づかないでください。
手や衣服が巻き込まれて思わぬ事故につながる恐れがあります。各車の取扱説明書及びマニュアルを確認し
作業していただくようお願いいたします。